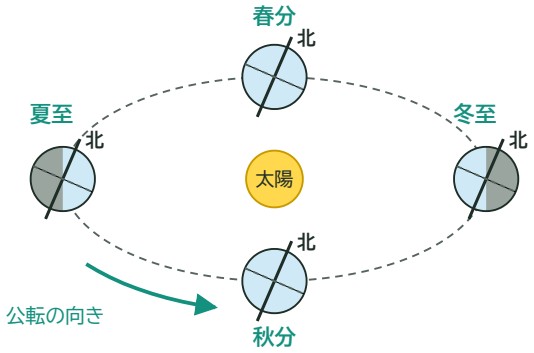
中3 理科 ポイント　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

地球 4 地軸の傾きと季節の変化

＿＿＿月＿＿＿日

まとめ 地軸の傾きと季節



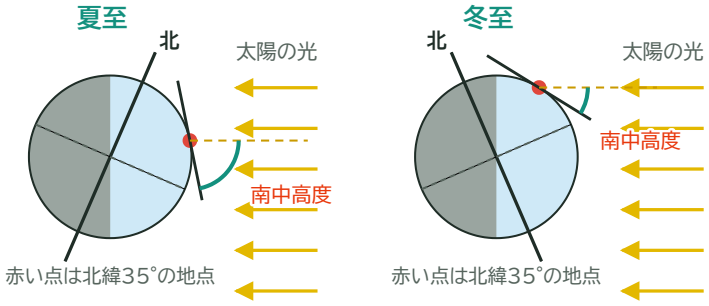
地球は、地軸を公転面に垂直な方向から23.4°傾けたまま公転している。このため、太陽の光の当たり方が1年の間に変わり、季節の変化が起こる。

北半球では、地軸の北極側が太陽の側へ傾く夏至ごろに夏、反対に傾く冬至ごろに冬になる。

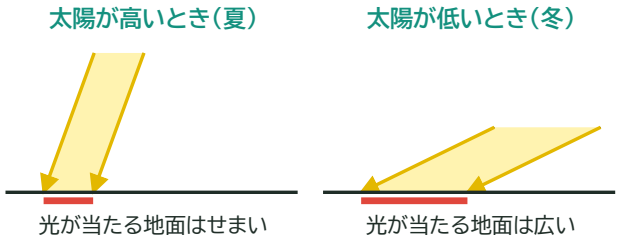
図 南中高度の求め方

補正値は、夏至が＋23.4°、冬至が−23.4°、春分・秋分が0°。北緯35°なら、夏至78.4°・春分秋分55°・冬至31.6°。

南中高度 ＝ 90° − 緯度 ＋ 補正値



まとめ 昼の長さと気温



夏至は南中高度が最も高く、昼が最も長い。冬至は南中高度が最も低く、昼が最も短い。春分・秋分は昼と夜がほぼ等しい。

太陽の高度が高いと、同じ量の光が当たる地面の面積がせまくなり、地面がよくあたたまる。昼が長いほど、受け取る光の量も多くなる。

例題 南中高度を求める

(1) 北緯40°の地点の、春分の日の南中高度は何°か。

90° − 40° ＝ 50°

(2) 北緯40°の地点の、冬至の日の南中高度は何°か。

90° − 40° − 23.4° ＝ 26.6°

ちりつもドリル 学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。